

けやきっ子ゆうゆうプラザ

会 場	開 設	令 和 6 年 度 の 活 動 状 況				
		参 加 人 数			開 設 期 間 曜 日 ・ 数	講座数
東鷺宮 小学校	平成 23 年(2011) (14 年目)	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	10 月～2 月 まで全 7 回 土曜日（午 前） 各講座：1～ 4 回活動	1 3 講座
ゆうゆうプラザ名の由来		1 0 7 / 5 2 7 (20.3%)	2 0 人	9 3 人		
開校の年に記念樹として「けやき」の木が 植栽され、以来東鷺宮小の子供達を「けや きっ子」と呼んでいるところから名付けた。						

1 実施委員長・校長先生からのメッセージ

「新生 けやきっ子ゆうゆうプラザ のスタート！」

実施委員長 村田文雄

令和 6 年度のけやきっ子ゆうゆうプラザでは、指導者やサポーター（地域、保護者、高校生等）の皆様、獨古校長先生をはじめ職員の皆様、実施委員の協力のお陰で、無事に各活動を終えることができました。本当にありがとうございました。今年度は、今は亡き中尾俊彦実施委員長のもと 13 年間続いてきた「けやきっ子ゆうゆうプラザ」の火を絶やさないことを主眼に、開催日を土曜日に特化し、また、運営面では、実施委員の負担をできる限り少なくするために DX 化を推進しました。成果の一つとして、土曜日に実施することにより、保護者サポーターの参加が大きく増えたことがあげられます。その結果、ゆうゆうプラザへの理解や関心が増したことは、今後のゆうゆうプラザの担い手確保にもつながると思います。何といたっても一番の成果は、子どもたちの笑顔あふれる活動の様子がたくさん見られたことです。ご協力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

「温かなけやきっ子ゆうゆう」

校長 獨古芳雄

「来年度からのゆうゆうは実施できないかもしれない…。」ちょうど一年前、こんな話を持ち上がりました。その危機を救ってくださったのが本校の第 6 代校長村田文雄先生はじめ、実施委員や運営委員、講師の方々、ボランティアの方々などです。入会方法や運営についての DX 化等を通じた効率化に着手してくださったことも功を奏し、スムーズに準備が進められました。活動は、土曜講座に特化して実施し、大盛況のうちに無事本年度の活動を終えることができました。ゆうゆう実施の土曜日は、いつも小春日和と言えそうな穏やかで温かな日ばかりでした。天も子どもたちに味方してくれたようです。そして、子どもたちはそれぞれの講座でとても温かな雰囲気を楽しむことができていました。改めて、村田実施委員長はじめ、快くご協力いただいた全ての皆さん（中学生や高校生を含め）に心から感謝申し上げます。また、次年度以降も温かなゆうゆうの活動をよろしくお願いいたします。

2 けやきっ子ゆうゆうプラザの活動紹介

(1) 活動の骨子について【今年度の重点】

- ・今年度はやれる範囲で無理をせず、継続することを目的にする。
- ・事務処理の効率化～ICT の導入（申し込み方法、連絡方法等）
- ・実施委員の負担感の軽減（講座及び係担当者の複数制等）

(2) ICT 化について

- ・実施委員連絡方法～オープンチャットを使用
- ・共有フォルダの様式、名簿等のファイルを各実施委員が入力、修正できるようにした。
- ・保護者への連絡方法～グーグルクラスルームで連絡する。

(3)活動の様子



ミニバス体験



将 棋



自然の観察&絵手紙



手びねり陶芸



親子そば打ち



お茶のじかん

3 今年度の成果と課題

<成果>

- ・土曜日の開催で活動時間が長くとれ、特に作品製作等にゆとりをもって取り組めた。
- ・講座全体のべ参加者数は、児童 259 人、サポーター298 人、総数 557 人となり、特に保護者の参加が 211 人と増えた。
- ・運営面で共有ファイルを使用することで、実施委員が手作業で集計する等なくなり事務の効率化につながった。

<課題>

- ・土曜日開催のため、家族で他の活動が入っている児童は参加ができず、参加率は前年度よりも下がった。
- ・土曜日に限定したため、講座の指導者の日程が合わずに開催できない講座もあった。